

I 第26週の発生動向 (2008/6/23~2008/6/29)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において2007年第45週から、むつ保健所管内では、2007年第48週から**警報**が続いています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、東地方+青森市保健所管内において第8週から、**警報**が続いています。
3. ヘルパンギーナについては、上十三保健所管内において、第24週から**警報**が続いています。

II 第26週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(85) インフルエンザ									2	0.22			2	0.03	-1											
(74) RSウイルス感染症															0											
(75) 咽頭結膜熱	6	0.67	7	0.78					7	1.17	4	1.00	24	0.57	4	1	1.00	5	0.63							
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	2.89	12	1.33	7	0.78	7	1.40	8	1.33	1	0.25	61	1.45	-18	2	2.00	24	3.00							
(77) 感染性胃腸炎	28	3.11	15	1.67	10	1.11	10	2.00	9	1.50	27	6.75	99	2.36	-22	9	9.00	19	2.38							
(78) 水痘	9	1.00	13	1.44	19	2.11	4	0.80	6	1.00	7	1.75	58	1.38	-47			9	1.13							
(79) 手足口病							1	0.20					1	0.02	-2											
(80) 伝染性紅斑					6	0.67			1	0.17			7	0.17	-1											
(81) 突発性発しん	4	0.44	4	0.44	3	0.33	2	0.40	4	0.67	6	1.50	23	0.55	9	1	1.00	3	0.38							
(82) 百日咳			1	0.11					1	0.17			2	0.05	2											
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																									
(83) ヘルパンギーナ	29	3.22	1	0.11	4	0.44	1	0.20	29	4.83	1	0.25	65	1.55	8	2	2.00	27	3.38							
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																									
(84) 流行性耳下腺炎			2	0.22			1	0.20			1	0.25	4	0.10	-1											
(86) 急性出血性結膜炎															0											
(87) 流行性角結膜炎	6	3.00			1	0.50							7	0.64	4			6	3.00							
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					1	1.00	5	0.83	-4											

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前3人、八戸9人、五所川原3人、上十三1人 (20年計:253人)  
 (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：青森市1人、むつ1人 (20年計: 3人)

# 感染症の窓

# ウエストナイル熱

**ウエストナイル熱**は、現在、アフリカ、ヨーロッパ、中東、中央アジア、西アジア、北米(表参照)など広い地域に分布しています。潜伏期間は3~15日(通常3~6日)で、症状は、3~6日間続く39℃以上の発熱、筋肉痛などの風邪様症状ですが、脳炎や髄膜炎を併発し、重症になることもあるため注意が必要です。感染は、**ウイルスを保有している蚊**に刺されることによって起こります。予防は、露出している皮膚への蚊除け剤の使用、戸外へ出る時は、できる限り長袖、長ズボンを着用し、**蚊に刺されない工夫**をすることです。夏休みに海外へ出かける方は、旅行先の感染症情報を確認し、渡航先に合った感染予防の対策をとって出かけ、帰国時に発熱などがある場合は、**検疫所健康相談室**や**医療機関等**へ相談することをお勧めします。

表 2008年ウエストナイル熱患者数 (疾病予防管理センター2008年6月9日現在)

	ウエストナイル脳炎/髄膜炎	ウエストナイル熱	その他の症状	総数
アリゾナ	1	0	0	1
ミシシッピ	1	2	0	3
オクラホマ	0	1	0	1
テネシー	0	1	0	1
テキサス	0	2	0	2